

平成 2 3 年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

徳 島 県 警 察 本 部

目 次

I	平成23年度警察本部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	3
III	歳入歳出決算額	4
1	一般会計決算額	4
	(1) 歳入決算額	4
	(2) 歳出決算額	4

I 平成23年度警察本部主要施策の成果の概要

第1 身近な犯罪の抑止と安全・安心の確保

街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合計画を策定し、県警察の組織の総合力を挙げて街頭活動の強化等に取り組んだ結果、平成23年中の刑法犯認知件数は6,492件で、ピークであった平成15年当時と比べておおむね半減し、街頭犯罪及び侵入犯罪の認知件数もピーク時の4割以下になった。

「犯罪の起きにくい社会づくり」の構築に向け、子ども・女性に対する「声かけ」、「つきまとい」等の不審者情報や犯人検挙の情報等をタイムリーに提供するとともに、防犯ボランティアの活動に対する支援や、「街路灯」や「防犯カメラ」の設置について関係事業者等に働きかけるなどの取組を推進した。

また、振り込め詐欺等の被害防止と実行犯の検挙対策、立ち直り支援等の少年非行防止対策、犯罪被害者支援の充実等、県民の安全・安心の確保に努めた。

第2 重要犯罪等の徹底検挙

平成23年中の殺人、強盗等の重要犯罪の認知件数は50件で、検挙人員は34人、検挙率は72.0%であった。

また、元農協職員や元学校給食会職員による多額詐欺事件等を検挙したほか、暴力団対策では、六代目山口組狭友会傘下2団体を壊滅に追い込むとともに、11月には暴力団排除条例を初適用し、利益供与を行った県内の事業者及び供与を受けた暴力団員に対し、公安委員会から勧告が行われた。

第3 交通死亡事故の抑止

関係機関・団体等と連携し、高齢者の交通事故防止、全席シートベルト着用推進、夜間の事故防止、飲酒運転の根絶の4つを柱に、自転車の安全利用とマナーの向上をプラスした「徳島セーフティ4PLUS」に取り組んだ。

特に、高齢者に対する交通安全教育や夜間事故防止のため反射材用品着用の啓発活動等を推進した結果、平成23年中の交通事故死者数は49人と前年を上回ったものの、発生件数及び負傷者数は7年連続で減少した。

第4 災害、テロ等緊急事態への対処の強化

平成23年中、県警察から東日本大震災の被災地へ、延べ7,772人、546日の派遣を行った。特別派遣等を通じて得た災害現場での貴重な活動経験等を踏まえ、南海地震や東海・東南海を加えた3連動地震の発生に備え、迅速かつ的確な初動対応がとれるよう、関係機関等と連携した訓練を重ねるとともに、災害警備用資機材の整備・充実に努めた。

また、国内外の政治・社会・経済情勢が一層不透明化・不安定化する中、来日外国人の不法滞在等を助長する犯罪やサイバー空間の脅威等に対応するため、関係機関との連携強化や管理者対策等を推進した。

第5 現場執行力と警察活動基盤の強化

「精強な第一線警察構築総合プラン」を策定し、県警察学校及び警察署において、様々な事件現場を想定したロールプレイング方式による実戦的訓練や、ベテラン職員等による伝承教養を実施するなど、若手職員の早期戦力化等に向けた諸施策を推進した。

また、優秀な人材確保に向け、幅広い募集活動を展開するとともに、特別枠で専門的な技能を有する者を選考採用するなど、警察活動基盤の強化に努めた。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

事業名	事業内容及び成果
警察施設整備事業	<p>南海地震等に備え、牟岐警察署及び那賀警察署の耐震改修工事を実施するとともに、板野警察署の耐震改修に向けた設計を行うなど、県南・県央方面における施設の防災対策を推進した。</p> <p>また、老朽・狭隘の著しい警察施設・設備の改善を図るため、警察本部庁舎中央監視システムの更新に着手するとともに、徳島東警察署西須賀町交番及び阿波警察署阿波町柴生駐在所の建て替え、小松島警察署立江町駐在所の建て替え用地の購入等、地域の安全センターとしての基盤整備を促進した。</p> <p style="text-align: right;">(248, 472)</p>
交通安全施設整備事業	<p>新設道路等について、道路管理者と連携の上、効果的な交通安全施設等の整備を行うとともに、道路交通情報の収集・提供のための交通管制システムの整備充実を推進した。</p> <p>また、信号灯器のLED化の推進を始め、道路標識及び表示の更新を行い、交通の安全と円滑化を図った。</p> <p style="text-align: right;">(560, 597)</p>
交通死亡事故抑止集中対策事業	<p>交通死亡事故を抑止するための各種施策及び装備資機材の整備充実を図った。</p> <p style="text-align: right;">(17, 276)</p>
東日本大震災救援対策事業	<p>東日本大震災被災地に派遣された本県警察部隊が、救助、捜索、検視及び治安維持活動を実施するための、ゴーグル、ヘッドライト、警備靴等の装備資機材を整備し、被災地での災害警備活動に役立てた。</p> <p style="text-align: right;">(48, 399)</p>
災害警備用資機材整備事業	<p>大規模災害時における県民の安全・安心を確保するため、東日本大震災の被災地に派遣された警察官の意見等を踏まえ、救出救助活動に必要な、FRPボート、携帯型発電機、エンジンカッター等を購入し、各警察署に配備するなど、災害装備資機材の整備を図った。</p> <p style="text-align: right;">(22, 209)</p>

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	2,124,050,000	2,126,695,330	2,123,004,330	90,000	3,601,000	△1,045,670

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	21,785,793,456	21,225,955,431	344,884,055	214,953,970	559,838,025